

伝統と特色ある図書教育

～谷汲小学校～

谷汲小学校では、学校全体を図書館ととらえ、「学習情報センター」「読書センター」としての機能を生かした図書館教育に、長年力を入れてきました。

「学習情報センター」とは、児童が問題解決を進めていく上で必要な情報を自由に活用していく場所のことです。多様な情報をそろえ、子どもたちの自主的な学習活動を支えるはたらきをするようにしています。

本年度はとくに生活科・社会科の授業を中心に、学校中の情報を使って自ら学ぶ力の育成を目指して取り組んでいます。子どもたちは、学年、目的、興味に応じて、図書の本、自作資料、掛け図、先輩の作品、インターネット、地域の人材などを学習の中に取り入れて、楽しく学習しています。



「読書センター」とは、子どもたちが読書に親しむ心のオアシスとなる所のことです。本の好きな児童も多く、昨年一年間で一四五冊もの本を借りた子が筆頭に、一〇〇冊以上借りた子が一人もいます。さらに、本を好きになるように、次のような活動を工夫したり、環境整備に努めたりしています。

・朝読書の実施

・年二回の読書強調月間の実施

・「あじさい祭り」「木の葉祭り」

・各種コンクールへの参加・掲示

・「読書感想文」「読書感想画」

・「わたしの図書館利用記録」など

・学年ごとの推薦図書の設定

とくに、読書強調月間では、保護者や地域の読書サークルの方々にも協力をいただいで、楽しい読み聞かせの会を実施しています。

今後も、読書に親しみ、図書館の情報を活用して自ら学ぶ児童の育成を目指して、図書館教育を推進していきます。

安心・安全な学校を目指して

～養基小学校～

学校にとって、子どもたちの安全確保は、全てに優先しなければならぬ事項です。近年、子どもたちの安心・安全が脅かされる出来事が後を絶ちません。本校においても、校

区における不審者の出没、不審電話、声かけ事案などは、決して皆無ではありません。子どもたちの生命が脅かされたり、心身が傷つけられたりしないように安全確保に万全を期す必要があります。しかし、不審者対応は、学校だけでは限界があります。家庭・地域との連携・協力が不可欠です。そこで、本校では、「学校・保護者・地域の方々による地域ぐるみの不審者対応」を重点として、子どもたちの安全確保に万全を期す取り組みを推し進めています。

まず、校内では、昼夜を問わず門扉や校舎の出入り口を施錠したり、来校者には氏名を書いていただいたりするなど、不審者の校内侵入を許さない体制づくりに努めてきました。さらに、防犯訓練を実施したり、警察署の協力のもとで防犯教室を開いたりして、子どもたちの防犯意識の向上にも取り組んできました。



しかし、校内に目を向けた取り組みだけでは安全確保は不十分です。最も不審者が近づきやすいのは、やはり下校時です。そこで、分団による集団下校や教職員による巡回パトロールを行ってきました。こうした取組に呼応して、PTAでも防犯委員会を中心に、一年間を通じた下校時の巡回パトロール体制を整備していただいています。毎日、教職員とPTA会員の方々が交代して行っています。また今年度より、新たに登校時にも地域の方には、毎朝、安全ボランティアとして交通安全指導と共に、不審者対応にも配慮していただいています。教職員、保護者、地域の方々という多くの目で子どもたちを守っているという状況が、不審者への抑止力となると共に早期発見並びに早期対応に繋がります。

安全が確保されることで、安心して子どもたちは学校生活を送ることが出来ます。確かな学力や豊かな心もそうした中で育むことが出来ます。安全確保に万全を期すよう、今後も保護者や地域の方々の協力を得ながら、地域ぐるみの取り組みを進めていきたいと思えます。

